

1 条例制定プロセス

平成26年度

3月1日～7日 インターネットモニターアンケート

平成27年度

7月～10月 市民ワークショップ
 9月～3月 市民との意見交換会・インタビュー
 10月～12月 市長出前トーク
 12月 (仮称) 大ワークショップ
 1月～2月 PTでの検討
 1月～3月 条例のたたき台の作成
 3月 意見募集・市民参加協働推進会議への諮問

平成28年度

4月～8月頃 市民参加協働推進会議から答申
 8月～10月頃 条例(案)の作成
 10月頃 パブリックコメント手続き
 2月 議会に上程

3 市民ワークショップ

概要

- (1) 目的：積極的に意見しない市民の意見、アイデアを聞く。
- (2) 日程：①7/4 ②8/22 ③9/19 ④10/17
- (3) 参加希望者：24名
(無作為抽出した18歳以上の市民1,200人に案内を送付)
- (4) ファシリテーター：5名(養成講座の受講者)
- (5) アドバイザー：千葉大学法政経学部准教授 関谷昇氏
(第2回より参加)
- (6) 成果物の活用：PTで意見をまとめ、条例の制定に取り組む。
- (7) その他：身近な地域のまちづくりに関するアンケートを実施。
(4のとおり)

第1回

熊谷市長による講演とグループワークを実施。
 (1) 参加者：19名(他ファシリテーター5名)

<続き>

- (2) 市長講演テーマ：これからの千葉市について話してみませんか?
- (3) GWテーマ：理想の千葉市ってどんなまち?



第2回

- アドバイザーも参加し、グループワークを実施。
 (1) 参加者：15名(他ファシリテーター5名)
 (2) GWテーマ：理想の千葉市を実現するために市民にできることを考えましょう!

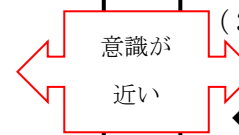
第3回以降

行政に期待することや市民参画について、GWで扱う予定。

2 インターネットモニターアンケート

概要

- (1) 目的：まちづくりへの意識を調査する。
- (2) 期間：平成27年3月1日～7日
- (3) 回答数：1,214人(登録数4,098人 回答率29.6%)
- (4) 結果 <詳細別添>
- ◆身近な地域の課題について考えることはあるか?
 - ・(時々)ある 83.9% ・(ほとんど)ない 16.1%
- ◆身近な地域の課題解決に参画したいと思うか?(複数回答)
 - ・(条件が合えば)したい 92.1% ・したくない7.8%
- ◆将来の身近なまちづくりにおいて、市民と市の関係はどうあるべきか?
 - ・市が全て対応 6.3%
 - ・市から協力を求められれば市民も対応 51.6%
 - ・市民にできることは市民が対応し、市はそれを補完 42.2%



4 市民ワークショップ案内アンケート

概要

- (1) 目的：まちづくりへの意識を調査する。
- (2) 期間：平成27年5月15日～6月10日
- (3) 回答数：195人(回答率16.3%)
- (4) 結果 <詳細別添>
- ◆身近な地域の課題について考えることはあるか?
 - ・(時々)ある 83.5% ・(ほとんど)ない 16.5%
- ◆身近な地域の課題解決に参画したいと思うか?(複数回答)
 - ・(条件が合えば)したい 81.5% ・したくない18.5%
- ◆将来の身近なまちづくりにおいて、市民と市の関係はどうあるべきか?
 - ・市が全て対応 3.7%
 - ・市から協力を求められれば市民も対応 54.8%
 - ・市民にできることは市民が対応し、市はそれを補完 41.5%
- ◆ワークショップに参加しない理由は?(不参加者のみ、複数回答)
 - ・日時の都合 59.0% ・交通手段がない 4.9%
 - ・条例の目的に共感できない 1.5% ・興味がない 13.2%
 - ・その他 21.5%

5 その他の市民意見聴取

市民との意見交換会・インタビュー

- (1) 時期：9月～3月
- (2) 対象：地縁団体(地域運営委員会等)、市民活動団体、企業、大学

市長出前トーク

- (1) 時期：11月～1月(所管へ要望済)

(仮称) 大ワークショップ

- (1) 日程：12/12、12/19
- (2) 参加者：100人程度

PTでの検討

- (1) 目的：意見聴取での声を集約し、条例のたたき台を作成に活かす。
- (2) 時期：1月～2月
- (3) 参加者：市民10名程度